

件名	8陳情第2号 横田基地での米軍によるパラシュート降下訓練の全面停止を求める陳情書
<p><b>【趣旨】</b></p> <p>1 議会として米軍に対して直ちに横田基地における降下訓練を全面的に停止することを求めてください。</p> <p>2 日本政府にも、こうした立場に立ち、米軍に対してパラシュート降下訓練の中止を求めることを要請してください。</p> <p><b>【理由】</b></p> <p>羽村市では8年前、2018年4月に第3中学校のテニスコートに、パラシュート落下事故が起きています。横田基地に降下する訓練中の米軍兵士がパラシュート本体の操作に失敗し、補助パラシュートを使用したものの、正しく使えず、それが基地外に落下した事故でした。</p> <p>子どもたちへの被害がなかったものの、あってはならない危険な事故として羽村市は、米軍に対して強く謝罪を求め、厳重な抗議を行いました。</p> <p>その後、横田基地では、降下訓練中に切り離されたパラシュートや足ひれが民家近くに落下したり、パラシュートのカバーが行方不明になったりする事故が発生していました。</p> <p>今回2025年11月18日に起きた事故は、降下訓練中の陸軍の兵士が基地外に落下したもので、けた違いに危険な事故でした。</p> <p>落下地点が基地から3キロ近く離れた住宅地で、近くにはJR青梅線や新奥多摩街道などが走っているところです。もし青梅線の架線に絡まったり、線路上にパラシュートとともに兵士が倒れていたりしたら大変な大事故になっていたかもしれません。多くの市民の命が危険にさらされたのです。</p> <p>驚くべきは、米軍は地元自治体の抗議に耳も貸さず、事故の原因について知らせることなく、2日後には訓練を再開したのです。</p> <p>人口密集地で危険な軍事訓練をすること自体が許されないことです。</p> <p>米軍の横暴は甚だしいもので、日本国民のいのちなど全く軽視しているとしか思えません。こうした重大事態に対して防衛省は米軍に対してまともに抗議さえしていません。</p> <p>同時に周辺自治体の訓練中止要請の当日、11月18日に続いて今回は福生市で20日に立て続けで事故を発生させました。周辺自治体の担当者は「信頼を損なう行為だ」と怒りの声あげています。</p> <p>米軍は基地から100m離れた熊川都営住宅用地内にパラシュートを落下させ、夜中に、落下場所の熊川児童館にも福生市にも無断で回収するという主権侵害行為を行いました。</p> <p>福生市長は「情報が米軍側から一切提供されないまま秘匿され、許可なく市公共施設の敷地内に侵入していたことは、極めて遺憾」と抗議しています。(12月11日東京新聞より)</p> <p>こうした事態は絶対に繰り返してはいけない極めて危険な訓練です。</p>	

※原文のまま掲載しています。